［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和５年度　名古屋港水底質環境改善基礎検討業務
業務概要	本業務は、港湾整備による水底質環境への影響を踏まえ、名古屋港を事例に底質に着目した水底質の現況把握方法及び水底質環境改善方策などの水底質環境の改善・維持・管理のための基礎検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 名古屋港湾事務所長　辻 誠治 愛知県名古屋市港区築地町２番地
契約年月日	令和5年11月6日
契約業者名	一般社団法人　水底質浄化技術協会
契約業者の住所	東京都中央区入船三丁目10番9号
契約金額（税込）	¥10,120,000.－
予定価格（税込）	¥10,120,000.－
随意契約によることとした理由	本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「担当技術者の経験能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行なった。 審査の結果、一般社団法人水底質浄化技術協会を契約の相手方として特定した。 よって、会計法第２９条の３第４項並びに予算決算及び会計令第１０２条の４第３号の規定により一般社団法人水底質浄化技術協会と随意契約するものである。
業務場所	名古屋港湾事務所
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和5年11月6日
履行期間（至）	令和6年3月22日
備考	

プロポーザル評価表

1. 件　名　　令和5年度　名古屋港水底質環境改善基礎検討業務

2. 所属事務所　　名古屋港湾事務所

3. 技術提案書の特定通知日　　令和5年10月31日

技術評価点の算定過程における端数処理の都合上、技術評価点内訳の合計と技術評価の得点計は一致しない場合がある。

業　者　名	技術評価点の内訳			技術評価点合計	備　考	摘要
	予定管理技術者の経験及び能力	実施方針・実施フロー・工程表・その他	特定テーマに対する技術提案			
評価のウェート	80	80	160	320		
一般社団法人　水底質浄化技術協会	62.00	48.00	96.00	206.00		特定